

令和 7 年 8 月 18 日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

四万十町長 中尾 博憲

市町村名 (市町村コード)	四万十町 (39412)
地域名 (地域内農業集落名)	十和地区 (里川、浦越、茅吹手、津賀、野々川、昭和、轟(昭和甲)、戸口(昭和乙)、大井川、河内、小野、久保川、口大道、奥大道、十川、戸川、古城、地吉、十和川口、広瀬、井崎)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年8月18日 (第2回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

十和地区は高齢化や人口減少が進んでおり、担い手や後継者が不足している。また急傾斜・狭小な農地が多く、地域によっては水不足等に悩まされているところもある。

○各地区の現状・課題

【里川】高齢化により、担い手が不足している。集落での機械の共同利用が活発ではなく個人所有の機械が多いため、機械の更新ができなくなると農業の継続も困難になる。また影地等の耕作不利地も多く、農地に適した管理方法も課題である。

【浦越】高齢化により、担い手が不足している。圃場整備済みではあるが、土羽部分が多く、除草作業等に非常に労力がかかる。既存の集落営農組織も構成員数の減少や機械更新のための資金等の課題がある。

【茅吹手】高齢化により、担い手が不足している。また四万十川本流沿いの農地は増水時に冠水してしまうという問題もある。既存の集落営農組織も構成員数の減少や機械更新のための資金等の課題がある。

【津賀】集落内の農地も少なく、高齢化もあり、新たな担い手もいない。また四万十川本流沿いの農地は増水時に冠水してしまうという問題もある。

【野々川】高齢化により、担い手が不足している。未整備の田畑は急傾斜・狭小であり、水稻・野菜・果樹等を耕作しているが、平場と比べ労力が大きくかかる。影地等の耕作不利地も多く、農地に適した管理方法も課題である。

【昭和】高齢化により、担い手が不足している。集落営農組織もあるが、規模的にも一部地域が中心で全集落をカバーできる状況ではない。構成員の減少や高齢化、機械更新の資金等の課題がある。

【轟】高齢化により、担い手が不足している。肥料、農薬の高騰により、小規模農家には厳しい状況であり特に特に三島は、既存の用水ポンプの修繕費が高額のため故障すると耕作が困難になる。未整備の田畑は急傾斜・狭小であり、水稻・野菜・果樹等を耕作しているが、平場と比べ労力が大きくかかる。

【戸口】高齢化により、担い手が不足している。地域の課題として水の条件が悪く、また四万十川沿いの農地は、増水時に冠水してしまう。

【大井川】高齢化により、担い手が不足している。しかし、十和地域内では比較的農地がまとまっており、耕作面積も広く優良農地が多いが、以前より水不足に悩まされており、ポンプの修理等の課題がある。またため池から水が漏れてしまい耕作ができない農地も存在する。

【河内】高齢化により、担い手不足である。圃場整備済みの田でも、既存の用水ポンプの修繕費が高額となると、耕作が困難になる。

【小野】十和地域内では優良農地が比較的多く、園芸作物等の若い専業農家もいるが、田(水稻)は高齢化による担い手不足である。既存の集落営農組織の充実が課題である。また、圃場整備済みの田でも、既存の用水ポンプの修繕費が高額となると、さらに耕作が困難になる。四万十川本流沿いの農地は、増水時に冠水する所もある。

【久保川】高齢化により、担い手不足である。圃場整備済みではあるが、土羽部分が多く、除草作業等に労力がかかる。

【口大道】高齢化が著しく、担い手もいない。圃場整備済み農地は少なく、農地自体も少ない。影地等の耕作不利地も多く、農地に適した管理方法も課題である。

【奥大道】高齢化により、担い手不足で農地の維持で現状精いっぱい。圃場整備済みの農地は少なく影地や機械作業が困難な湿田等の耕作不利地も多く、農地に適した管理方法も課題である。

【十川】高齢化により、担い手が不足している。集落営農組織もあるが、規模的にも一部地域が中心で全集落をカバーできる状況ではない。構成員の減少や高齢化、機械更新の資金等の課題がある。一部地域では水不足の課題を抱えており、用水ポンプも修繕費が高額となると、さらに耕作が困難になる。

【戸川】高齢化により、担い手が不足しているが、既存の集落営農組織が機能しており、農地においては現状維持ができています。圃場整備済みではあるが、未整備の箇所は耕作継続は難しい。また用水路の幅が狭いことによる水の氾濫などの課題もある。

【古城】高齢化により、担い手が不足している。圃場整備済みではあるが、面積は狭い田もある。影地や機械作業が困難な湿田等の耕作不利地も多く、農地に適した管理方法も課題である。

【地吉】高齢化により、担い手が不足している。圃場整備済みではあるが、土羽部分が多く、除草作業等に労力がかかる。影地や機械作業が困難な湿田等の耕作不利地も多く、農地に適した管理方法も課題である。

【十和川口】高齢化により、担い手不足である。圃場整備済みの田でも、既存の用水ポンプの修繕費が高額となると、耕作が困難になる。また、耕作者が減ることで、一人当たりの維持費が高くなる。既存の集落営農組織も構成員の減少や高齢化、機械更新の資金等の課題がある。

【広瀬】高齢化により、担い手不足である。圃場整備済みの田でも、既存の用水ポンプの修繕費が高額となると、耕作が困難になる。

【井崎】高齢化により、担い手不足である。既存の集落営農組織が作業受託を担っているが、組織も構成員の減少や高齢化といった課題を抱える。特に特産品でもある茶畑の労力は大きく、維持していく方法も課題である。

(2) 地域における農業の将来の在り方

当地区の基幹品目として水稻を生産している、また、その他に果樹、茶、センブリ、ナバナ、シシトウなどの作物の生産を継続して行っていく。

○各集落の農業の将来の在り方

【里川】高齢化率が高く、水稻・野菜・果樹等を耕作しているが、平場と比べ労力が大きくかかる。入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより耕作放棄地を減らしていくように取り組んでいく。

【浦越】高齢化率が高く、急傾斜・狭小の農地は水稻・野菜・果樹等を耕作しているが、平場と比べ労力が大きくかかるため、個人ではなく地域全体で守っていけるよう集落営農組織での集積も検討しながら耕作放棄地を減らしていくように取り組んでいく。

【茅吹手】高齢化率が高く、急傾斜・狭小の農地は水稻・野菜・果樹・茶等を耕作しているが、平場と比べ労力が大きくかかる。耕作放棄地を減らしていくためにも中山間地域等直接支払制度を継続して活用する。

【津賀】高齢化率が高く、未整備の田畑は、急傾斜・狭小等であり、水稻・野菜・果樹・茶等を耕作しているが、平場と比べ労力が大きくかかるうえ水害も多い。入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより耕作放棄地を減らしていくように取り組んでいく。

【野々川】高齢化率が高く、未整備の田畑は急傾斜・狭小であり、水稻・野菜・果樹等を耕作しているが、平場と比べ労力が大きくかかるため耕作放棄地を減らしていくためにも中山間地域等直接支払制度を継続して活用する。

【昭和】高齢化率が高く、未整備の田畑は急傾斜・狭小であり、水稻・野菜・果樹等を耕作しているが平場と比べ労力が大きくかかってしまうため、しまんと農楽里での集積も検討しながら耕作放棄地を減らしていくように取り組んでいく。

【轟】高齢化率が高く、未整備の田畑は急傾斜・狭小で平場と比べ労力が大きくかかるため個人ではなく地域全体で守っていけるよう集落営農組織での集積も検討しながら耕作放棄地を減らしていくように取り組んでいく。

【戸口】高齢化率が高く、未整備の田畑は急傾斜・狭小であり、野菜・果樹等を耕作しているが、平場と比べ労力が大きくかかる。耕作放棄地を減らしていくためにも中山間地域等直接支払制度を継続して活用する。

【大井川】農地は比較的基盤整備もされており、水稻・野菜・果樹等を耕作している。しかし昔に整備された農地は年々条件が悪くなっているため新たな整備事業も活用することも検討していく。

【河内】高齢化率が高く未整備の田畑は急傾斜・狭小であり、水稻・野菜・果樹・茶等を耕作しているが、平場と比べ労力が大きくかかる。ポンプの負担率のこともあるので地域としては水稻の耕作を中心に行っていく。

【小野】高齢等で耕作ができなくなる農地は、小野農事組合や集落の担い手が担うほか、耕作放棄地を減らしていくためにも中山間地域等直接支払制度を継続して活用する。

【久保川】高齢化率が高く、野菜・果樹・茶等を耕作しているが、平場と比べ労力が大きくかかる。耕作放棄地を減らしていくためにも中山間地域等直接支払制度を継続して活用する。

【口大道】高齢化率が高く、未整備の田畑は、急傾斜・狭小等であり、野菜・果樹等を耕作しているが、平場と比べ労力が大きくかかる。耕作放棄地を減らしていくためにも入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れ促進に取り組んでいく。

【奥大道】高齢化率が高く、未整備の田畑は急傾斜・狭小であり、水稻・野菜・果樹等を耕作しているが、平場と比べ労力が大きくかかるため、耕作放棄地を減らしていくためにも中山間地域等直接支払制度を継続して活用する。

【十川】高齢化率が高く、未整備の田畑は急傾斜・狭小であり、水稻・野菜・果樹等を耕作しているが、平場と比べ労力が大きくかかるため、集落営農組織での集積も検討しながら耕作放棄地を減らしていくように取り組んでいく。

【戸川】高齢化率が高く、ほ場整備ができておらず耕作継続が難しい農地は、個人ではなく地域全体で守っていけるよう集落営農組織での集積も検討しながら耕作放棄地を減らしていくように取り組んでいく。

【古城】高齢化率が高く、未整備の田畑は急傾斜・狭小であり、水稻・野菜・果樹・茶等を耕作しているが、平場と比べ労力が大きくかかるため、耕作放棄地を減らしていくためにも中山間地域等直接支払制度を継続して活用する。

【地吉】高齢化率が高く、未整備の田畑は急傾斜・狭小であり、水稻・野菜・果樹等を耕作しているが、平場と比べ労力が大きくかかるため、集落営農組織での集積も検討しながら耕作放棄地を減らしていくように取り組んでいく。

【十和川口】高齢化率が高く、未整備の田畑は、急傾斜・狭小等であり、野水稻・菜・果樹・茶等を耕作しているが、平場と比べ労力が大きくかかるため、集落営農組織での集積も検討しながら耕作放棄地を減らしていくように取り組んでいく。

【広瀬】高齢化率が高く、未整備の田畑は、急傾斜・狭小等であり、野菜・果樹・茶等を耕作しているが、平場と比べ労力が大きくかかる。特に特産品でもある茶畑の労力は大きく管理ができていない茶畑が増えてきているので、中山間地域等直接支払制度を継続して活用し農地を守っていく。

【井崎】高齢化率が高く、未整備の田畑は、急傾斜・狭小等であり、水稻・野菜・果樹・茶等を耕作しているが、平場と比べ労力が大きくかかる。耕作放棄地を減らし茶畑を維持していくためにも、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れ促進に取り組んでいく。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	434 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	333 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	130 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農業振興地域内であつとおおむね10年後に耕作が見込まれる農地を農業上の利用が行われる区域とし、現在、耕作が行われておらず、今後とも農地への復旧が難しい農地を保全等を進める区域とする。

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針

当地区として、各集落の担い手や営農組合を中心に集積・集約化を図っていく。

○各集落の方針

【里川】集落の担い手を中心に集積・集約化を図るほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。

【浦越】中心経営体である浦越農作業受託組合や集落の担い手を中心に集積・集約化を図るほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。

【茅吹手】集落の担い手を中心に集積・集約化を図るほか、地域外からの耕作希望者が現れた場合は水や道の管理でトラブルが起こらないように慎重に対応する。

【津賀】集落の担い手を中心に集積・集約化を図るほか、地域外からの耕作希望者が現れた場合は水や道の管理でトラブルが起こらないように慎重に対応する。

【野々川】集落の担い手を中心に集積・集約化を図るほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。

【昭和】四手崎共同機械管理組合や(一社)しまんと農楽里を中心に集積・集約化を図っていくが、家が密集しているエリアの農地は集積・集約は難しい。

【轟】中心経営体である轟地区共同機械管理組合や集落の担い手を中心に集積・集約化を図るほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。

【戸口】集落の担い手を中心に集積・集約化を図るほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。

【大井川】中心経営体である大井川西部共同機会管理組合や集落の担い手が担うほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。

【河内】集落の担い手を中心に集積・集約化を図るほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。

【小野】中心経営体である小野農事組合や集落の担い手を中心に集積・集約化を図るほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。

【久保川】集落の担い手を中心に集積・集約化を図るほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。

【口大道】集落の担い手を中心に集積・集約化を図るほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。

【奥大道】集落の担い手を中心に集積・集約化を図るほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。

【十川】集落の担い手を中心に集積・集約化を図るほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。

【戸川】中心経営体である戸川地区共同機械管理組合や集落の担い手を中心に集積・集約化を図るほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。

【古城】集落の担い手を中心に集積・集約化を図るほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。

【地吉】中心経営体である地吉奥農作業委託組合や集落の担い手を中心に集積・集約化を図るほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。

【十和川口】中心経営体である十和川口農産物生産組合や集落の担い手を中心に集積・集約化を図るほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。

【広瀬】集落の担い手を中心に集積・集約化を図るほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。

【井崎】中心経営体である井崎農作業受託組合や集落の担い手を中心に集積・集約化を図るほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。

(2) 農地中間管理機構の活用方針

当地区として、農地の集積・集約化を図っていく際や事業を活用する際に機構の活用を検討していく。

○各集落の方針

【里川】耕作が困難となった場合、機構を活用し、中心経営体等や認定農業者や認定新規就農者に農地を集約・集積することを検討する。

【浦越】耕作が困難となった場合、機構を活用し、中心経営体等や認定農業者や認定新規就農者に農地を集約・集積することを検討する。

【茅吹手】耕作が困難となった場合、機構を活用し、中心経営体等や認定農業者や認定新規就農者に農地を集約・集積することを検討する。

【津賀】耕作が困難となった場合、機構を活用し、中心経営体等や認定農業者や認定新規就農者に農地を集約・集積することを検討する。

【野々川】耕作が困難となった場合、機構を活用し、中心経営体等や認定農業者や認定新規就農者に農地を集約・集積することを検討する。

【昭和】耕作が困難となった場合、機構を活用し、中心経営体等や認定農業者や認定新規就農者に農地を集約・集積することを検討する。

【轟】耕作が困難となった場合、機構を活用し、中心経営体等や認定農業者や認定新規就農者に農地を集約・集積することを検討する。

【戸口】耕作が困難となった場合、機構を活用し、中心経営体等や認定農業者や認定新規就農者に農地を集約・集積することを検討する。

【大井川】耕作が困難となった場合、機構を活用し、中心経営体等や認定農業者や認定新規就農者に農地を集約・集積することを検討する。

【河内】耕作が困難となった場合、機構を活用し、中心経営体等や認定農業者や認定新規就農者に農地を集約・集積することを検討する。

【小野】耕作が困難となった場合、機構を活用し、中心経営体等や認定農業者や認定新規就農者に農地を集約・集積することを検討する。

【久保川】耕作が困難となった場合、機構を活用し、中心経営体等や認定農業者や認定新規就農者に農地を集約・集積することを検討する。

【口大道】耕作が困難となった場合、機構を活用し、中心経営体等や認定農業者や認定新規就農者に農地を集約・集積することを検討する。

【奥大道】耕作が困難となった場合、機構を活用し、中心経営体等や認定農業者や認定新規就農者に農地を集約・集積することを検討する。

【十川】耕作が困難となった場合、機構を活用し、中心経営体等や認定農業者や認定新規就農者に農地を集約・集積することを検討する。

【戸川】耕作が困難となった場合、機構を活用し、中心経営体等や認定農業者や認定新規就農者に農地を集約・集積することを検討する。

【古城】耕作が困難となった場合、機構を活用し、中心経営体等や認定農業者や認定新規就農者に農地を集約・集積することを検討する。
【地吉】耕作が困難となった場合、機構を活用し、中心経営体等や認定農業者や認定新規就農者に農地を集約・集積することを検討する。
【十和川口】耕作が困難となった場合、機構を活用し、中心経営体等や認定農業者や認定新規就農者に農地を集約・集積することを検討する。
【広瀬】耕作が困難となった場合、機構を活用し、中心経営体等や認定農業者や認定新規就農者に農地を集約・集積することを検討する。
【井崎】耕作が困難となった場合、機構を活用し、中心経営体等や認定農業者や認定新規就農者に農地を集約・集積することを検討する。

(3) 基盤整備事業への取組方針

当地区として、水路や堰などの老朽化している箇所や未整備農地については農地耕作条件改善事業など、基盤整備事業の活用を検討していく。

○各集落の方針

【里川】未整備農地のせまち直し・湿田対策等の農地条件の改善、機械進入路づくり等に、基盤整備等の各種事業を活用する。

【浦越】未整備農地のせまち直し・湿田対策等の農地条件の改善、機械進入路づくり等に、基盤整備等の各種事業を活用する。

【茅吹手】河川沿いの農地の農地の嵩上げができる事業等を活用する。

【津賀】河川沿いの農地の農地の嵩上げができる事業等を活用する。

【野々川】未整備農地のせまち直し・湿田対策等の農地条件の改善、機械進入路づくり等に、基盤整備等の各種事業を活用する。

【昭和】未整備農地のせまち直し・湿田対策等の農地条件の改善、機械進入路づくり等に、基盤整備等の各種事業を活用する。

【轟】用水ポンプの修繕に、各種事業等を活用する。

【戸口】未整備農地のせまち直し・湿田対策等の農地条件の改善、機械進入路づくり等に、基盤整備等の各種事業を活用する。

【大井川】未整備農地のせまち直し・湿田対策等の農地条件改善、水不足対策の水路改修等のため、基盤整備等の各種事業を活用する。

【河内】用水ポンプの修繕に、各種事業等を活用する。

【小野】用水ポンプの修繕や未整備農地のせまち直し・湿田対策等に各種事業等を活用する。

【久保川】未整備農地のせまち直し・湿田対策等の農地条件の改善を図るため、基盤整備等の各種事業を活用する。

【口大道】未整備農地のせまち直し・湿田対策等の農地条件の改善、機械進入路づくり等に、基盤整備等の各種事業を活用する。

【奥大道】未整備農地のせまち直し・湿田対策等の農地条件の改善、機械進入路づくり等に、基盤整備等の各種事業を活用する。

【十川】未整備農地のせまち直し・湿田対策等の農地条件の改善、機械進入路づくり等、用水ポンプの修繕に、各種事業等を活用する。

【戸川】未整備農地のせまち直し・湿田対策等の農地条件の改善、機械進入路づくり等に、基盤整備等の各種事業を活用する。

【古城】未整備農地のせまち直し・湿田対策等の農地条件の改善を図るため、基盤整備等の各種事業を活用する。

【地吉】未整備農地のせまち直し・湿田対策等の農地条件の改善を図るため、基盤整備等の各種事業を活用する。

【十和川口】未整備農地のせまち直し・湿田対策等の農地条件の改善、機械進入路づくり等に、基盤整備等の各種事業を活用する。

【広瀬】用水ポンプの修繕に、各種事業等を活用する。

【井崎】未整備農地のせまち直し・湿田対策等の農地条件の改善を図るため、基盤整備等の各種事業を活用する。

(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針

各集落で方針を定め、関係機関と連携し、担い手や後継者の確保・育成を行っていく。

○各集落の方針

【里川】市町村やJAと連携しながら、後継者がスムーズに経営を続けていけるように農業技術の継承、後継者への事業活用の相談等に取り組んでいく。
【浦越】市町村やJAと連携し浦越農作業受託組合の維持をしながら、後継者がスムーズに経営を続けていけるように農業技術の継承、後継者への事業活用の相談等に取り組んでいく。
【茅吹手】市町村やJAと連携し茅吹手機械共同利用組合を可能な限り維持をしながら、後継者がスムーズに経営を続けていけるように農業技術の継承、後継者への事業活用の相談等に取り組んでいく。
【津賀】市町村やJAと連携しながら、後継者がスムーズに経営を続けていけるように農業技術の継承、後継者への事業活用の相談等に取り組んでいく。
【野々川】市町村やJAと連携しながら、後継者がスムーズに経営を続けていけるように農業技術の継承、後継者への事業活用の相談等に取り組んでいく。
【昭和】市町村やJAと連携し四手崎共同機械管理組合の維持をしながら、後継者がスムーズに経営を続けていけるように農業技術の継承、後継者への事業活用の相談等に取り組んでいく。
【轟】市町村やJAと連携し轟地区共同機械管理組合の維持をしながら、後継者がスムーズに経営を続けていけるように農業技術の継承、後継者への事業活用の相談等に取り組んでいく。
【戸口】市町村やJAと連携しながら、後継者がスムーズに経営を続けていけるように農業技術の継承、後継者への事業活用の相談等に取り組んでいく。
【大井川】市町村やJAと連携しながら、大井川西部共同機械管理組合を維持しながら後継者がスムーズに経営を続けていけるように農業技術の継承、後継者への事業活用の相談等に取り組んでいく。
【河内】市町村やJAと連携しながら、後継者がスムーズに経営を続けていけるように農業技術の継承、後継者への事業活用の相談等に取り組んでいく。
【小野】市町村やJAと連携しながら、後継者がスムーズに経営を続けていけるように農業技術の継承、後継者への事業活用の相談等に取り組んでいく。
【久保川】市町村やJAと連携しながら、後継者がスムーズに経営を続けていけるように農業技術の継承、後継者への事業活用の相談等に取り組んでいく。
【口大道】市町村やJAと連携し四手崎共同機械管理組合の維持をしながら、後継者がスムーズに経営を続けていけるように農業技術の継承、後継者への事業活用の相談等に取り組んでいく。
【奥大道】市町村やJAと連携し四手崎共同機械管理組合の維持をしながら、後継者がスムーズに経営を続けていけるように農業技術の継承、後継者への事業活用の相談等に取り組んでいく。
【十川】市町村やJAと連携し四手崎共同機械管理組合の維持をしながら、後継者がスムーズに経営を続けていけるように農業技術の継承、後継者への事業活用の相談等に取り組んでいく。
【戸川】市町村やJAと連携し戸川地区共同機械管理組合の維持をしながら、後継者がスムーズに経営を続けていけるように農業技術の継承、後継者への事業活用の相談等に取り組んでいく。
【古城】市町村やJAと連携し四手崎共同機械管理組合の維持をしながら、後継者がスムーズに経営を続けていけるように農業技術の継承、後継者への事業活用の相談等に取り組んでいく。
【地吉】市町村やJAと連携し四手崎共同機械管理組合の維持をしながら、後継者がスムーズに経営を続けていけるように農業技術の継承、後継者への事業活用の相談等に取り組んでいく。
【十和川口】市町村やJAと連携し四手崎共同機械管理組合の維持をしながら、後継者がスムーズに経営を続けていけるように農業技術の継承、後継者への事業活用の相談等に取り組んでいく。
【広瀬】市町村やJAと連携し四手崎共同機械管理組合の維持をしながら、後継者がスムーズに経営を続けていけるように農業技術の継承、後継者への事業活用の相談等に取り組んでいく。
【井崎】市町村やJAと連携し四手崎共同機械管理組合の維持をしながら、後継者がスムーズに経営を続けていけるように農業技術の継承、後継者への事業活用の相談等に取り組んでいく

(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

各集落の方針に基づいて、継続的に耕作を行っていきよう農作業委託を行っていく。

○各集落の方針

【里川】支援サービス事業者への委託はなく、耕作できなくなった農地は荒れてしまっている現状がある。
【浦越】集落営農組織は存在するが、現状小規模な活動である。
【茅吹手】集落営農組織は存在するが、現状機械の管理のみの活動である。
【津賀】支援サービス事業者への委託はなく、耕作できなくなった農地は荒れてしまっている現状がある。
【野々川】支援サービス事業者への委託はなく、耕作できなくなった農地は荒れてしまっている現状がある。
【昭和】集落営農組織は存在するが、現状小規模な活動である。
【轟】集落営農組織は存在するが、現状小規模な活動である。
【戸口】支援サービス事業者への委託はなく、耕作できなくなった農地は荒れてしまっている現状がある。
【大井川】水稻の農作業受託を個人農家が積極的に行っており、大井川西部共同機会管理組合も耕起等の受託を行っているが、農地管理(除草)や、機械の更新等の課題がある。

【河内】支援サービス事業者への委託はなく、耕作できなくなった農地は荒れてしまっている現状がある。
 農作業受託する組織があるなら利用してみたい。
 【小野】集落営農組織は存在するが、現状活動できていない。
 【久保川】支援サービス事業者への委託はなく、耕作できなくなった農地は荒れてしまっている現状がある。
 【口大道】支援サービス事業者への委託はなく、耕作できなくなった農地は荒れてしまっている現状がある。
 【奥大道】支援サービス事業者への委託はなく、一部個人農家が機械を使っの整地を行っているが耕作できなくなった農地は荒れてしまっている現状がある。
 【十川】集落営農組織や(一社)しまんと農楽里の作業受託の活用を考えていく。

【戸川】今後も継続して、集落営農組織のオペレーターによる稲刈り作業の受託及び機械の共同利用の取り組みを活用する。
 【古城】支援サービス事業者への委託はなく、耕作できなくなった農地は荒れてしまっている現状がある。
 【地吉】集落営農組織は存在するが、現状小規模な活動である。
 【十和川口】今後も継続して、集落営農組織による田植えや稲刈り作業の受託及び機械の共同利用の取り組みを活用する。
 【広瀬】支援サービス事業者への委託はなく、耕作できなくなった農地は荒れてしまっている現状がある。
 【井崎】今後も継続して、集落営農組織による田植えや稲刈り作業の受託及び機械の共同利用の取り組みを活用する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☒ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

【里川】
 ①農地が点在し、高低差もある為、基本的には捕獲を主とし、個人が農地をネットや金網等で防護する。老朽化している部分の補修を行う。
 【浦越】
 ①農地が点在し広範囲である為、基本的には捕獲を主とし、個人が農地をネットや金網等で防護する。老朽化している部分の補修を行う。
 ⑦多面的機能支払事業に継続して取組み、集落内の農地の保全・管理を実施していく。
 【茅吹手】
 ①農地が点在し広範囲である為、基本的には捕獲を主とし、個人が農地をネットや金網等で防護する。老朽化している部分の補修を行う。
 ⑦多面的機能支払事業に継続して取組み、集落内の農地の保全・管理を実施していく。
 【津賀】
 ①農地が点在し広範囲である為、基本的には捕獲を主とし、個人が農地をネットや金網等で防護する。老朽化している部分の補修を行う。
 ⑦多面的機能支払事業に継続して取組み、集落内の農地の保全・管理を実施していく。
 【野々川】
 ①農地が点在し、高低差もある為、基本的には捕獲を主とし、個人が農地をネットや金網等で防護する。老朽化している部分の補修を行う。
 ⑦多面的機能支払事業に継続して取組み、集落内の農地の保全・管理を実施していく。
 【昭和】
 ①まとまった農地は、金網等で囲み対策してきたが、個人で対策している所もある。老朽化もしており、メンテナンスをしながら防護する。
 ⑦四手崎、炎谷、大保木の地域は多面的機能支払事業に継続して取組み、集落内の農地の保全・管理を実施していく。
 【轟】
 ①農地が点在し広範囲である為、基本的には捕獲を主とし、個人が農地をネットや金網等で防護する。老朽化している部分の補修を行う。
 ⑦多面的機能支払事業に継続して取組み、集落内の農地の保全・管理を実施していく。

【戸口】

①農地が点在し高低差もある為、基本的には捕獲を主とし、個人が農地をネットや金網等で防護する。老朽化している部分の補修を行う。

⑦多面的機能支払事業に継続して取組み、集落内の農地の保全・管理を実施していく。

【大井川】

①まとまった農地は、金網等で囲み対策してきたが、個人で対策している所もある。老朽化もしており、メンテナンスをしながら防護する。

③ドローンを所有している担い手がいるため、中山間地域等直接支払制度を利用した共同防除を検討する。

⑦多面的機能支払事業に継続して取組み、集落内の農地の保全・管理を実施していく。

【河内】

①集落の周辺に金網を設置する等、対策してきたが、被害はある。今後も対策は行っていく

⑦多面的機能支払事業に継続して取組み、集落内の農地の保全・管理を実施していく。

【小野】

①集落を金網で囲む等の対策をしており、老朽化している部分の補修を行う。一部で対策できていないところもあるので、網や金網等で防護する。

⑦多面的機能支払事業に継続して取組み、集落内の農地の保全・管理を実施していく。

【久保川】

①農地が点在し広範囲である為、基本的には捕獲を主とし、個人が農地をネットや金網等で防護する。老朽化している部分の補修を行う。

⑦多面的機能支払事業に継続して取組み、集落内の農地の保全・管理を実施していく。

【口大道】

①農地が点在し、高低差もある為、基本的には捕獲を主とし、個人が農地をネットや金網等で防護する。老朽化している部分の補修を行う。

【奥大道】

①農地が点在し、高低差もある為、基本的には捕獲を主とし、個人が農地をネットや金網等で防護する。老朽化している部分の補修を行う。

⑦多面的機能支払事業に継続して取組み、集落内の農地の保全・管理を実施していく。

【十川】

①まとまった農地は、全体的に金網等で囲み、点在する農地は個人で対策してきたが。老朽化もしており、メンテナンスをしながら防護する。

【戸川】

①農地が点在し広範囲である為、基本的には捕獲を主とし、個人が農地をネットや金網等で防護する。老朽化している部分の補修を行う。

⑦多面的機能支払事業に継続して取組み、集落内の農地の保全・管理を実施していく。

【古城】

①農地が点在し広範囲である為、基本的には捕獲を主とし、個人が農地をネットや金網等で防護する。猿被害対策も検討する。

⑦多面的機能支払事業に継続して取組み、集落内の農地の保全・管理を実施していく。

【地吉】

①まとまった農地は、全体的に金網等で囲み、点在する農地は個人で対策してきたが。老朽化もしており、メンテナンスをしながら防護する。

⑦多面的機能支払事業に継続して取組み、集落内の農地の保全・管理を実施していく。

【十和川口】

①まとまった農地は、全体的に金網等で囲み、点在する農地は個人で対策してきたが。老朽化もしており、メンテナンスをしながら防護する。

⑦多面的機能支払事業に継続して取組み、集落内の農地の保全・管理を実施していく。

【広瀬】

①農地が点在し広範囲である為、基本的には捕獲を主とし、個人が農地をネットや金網等で防護する。老朽化している部分の補修を行う。

⑦多面的機能支払事業に継続して取組み、集落内の農地の保全・管理を実施していく。

【井崎】

①まとまった農地は、全体的に金網や電柵等で囲み対策する。個人で対策している所もある。老朽化もしており、メンテナンスをしながら防護する。

⑦多面的機能支払事業に継続して取組み、集落内の農地の保全・管理を実施していく。